

協定企業名	株式会社清流メンテナンス
開催日時	平成 27 年 11 月 27 日 (金) 13:30~15:30
開催場所	「清流の森」(四万十市西土佐半家市有林)
主な参加者・人数	清流メンテナンス社員 (6名) 竹村総合建設 (3名)、四万十市 (3名)、高知県 (3名) 総勢 15名
概要	間伐体験
当日の様子	<p>前日から冷え込み、絶好の間伐日和となった秋晴れの空の下、四万十市西土佐の半家神社前に集合し、第5回の「清流の森」交流活動が行われました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>開会式では、四万十市西土佐総合支所の篠田産業建設課長から協働の森づくり事業への協力に対する感謝と歓迎の挨拶がありました。株式会社清流メンテナンスの宇田代表取締役社長様から、協定を締結していただいてから5年が経過し、11月24日付けでさらに5年間協定を更新していただいたこと、これからも四万十市の森林の再生等に協力していただけるとの挨拶がありました。</p> <p>そして、県幡多林業事務所職員から間伐作業の手順、安全面での注意事項の説明が行われ開会式は終了。車5台に分乗して、間伐を行う協定林に向かいました。作業道を15分ほど移動し、現場に到着。今回から場所を替えたということで、以前と違い今回の場所の木は少し曲がったり、二股に分かれたりした育ちの悪い木が多いとのことでした。</p> <p>皆さん、お揃いのヘルメット、作業服、地下足袋など、準備万端で作業現場の斜面を登って行きます。そして、県幡多林業事務所と竹村総合建設の皆さんの指導のもと、2班に分かれて、間隔をとりながら、手ノコを使ってスギ、ヒノキ(約50年生)の間伐を行いました。</p> <p>今回、5回目の交流活動ということで、皆さん、間伐の作業は経験がある様子。かかり木にならないように、作業道の開けた空間の方向を目指して伐倒していきました。50年生ほどで大きく育ったヒノキはなかなか手ごわく、息を切らし、交代しながら協力して作業を進めました。特に受け口づくりに苦戦されていました。受け口の下切りと斜め切りの角度が合わず、少しずつ角度を調節しながら、ようやく受け口が完成。次に、ツルを残すことを意識しながら追い口を作っていきます。追い口ができれば、くさびを打ち込み、幹を手で押すと、大きく育った木がきれいに倒れていきました。そのたびに、周りから大きな歓声が上がっていました。それぞれが自分のペースで1時間弱の間に4、5本ほどの間伐を行いました。手ノコでの作業を皆さん十分堪能された様子でした。</p>



これで間伐体験は終了。半家神社へ戻り、閉会式を行いました。間伐作業の大変さを身を持って味わい、来年は若手社員も加えて平均年齢を下げても伐作業体験を行いたい、と決意を新たにされていました。

皆さん、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。来年も是非、四万十市へお越しください。

